



まっぴーし

第128号
令和7年1月29日発行

議会だより



風車のある池
公募いただいた写真



オレンジを啄むメジロ
公募いただいた写真



赤色花のボケ
公募いただいた写真

12月定例会

〈主な内容〉

- 補正予算・議案審議・意見書 …… 2～3P
- 議案の採決 …… 4P
- 12人の議員が町政を問う …… 4～10P
- 委員会報告 …… 11P



議会だよりが
スマートフォンでも
読めます

文教民生委員会試食会
「おいしい給食、栄養満点」



表紙の写真 **大募集!**

詳細は裏表紙or
QRコードから



この広報紙は
UDフォントを
使用しています

UD FONT

令和6年12月定例会

12月5日から12月13日まで開催されました

12月定例会は、町長から15件の議案が上程され、審議の結果すべての議案が可決されました。

令和6年度松伏町一般会計補正予算（第4号） 総額 1億4,418万7,000円の増額

〈主な歳入〉

地方交付税	1,487万8千円
障害者自立支援給付費負担金(国)	6,000万円
障害者自立支援給付費負担金(県)	3,000万円
企業版ふるさと納税寄付金	1,150万円

〈主な歳出〉

企業版ふるさと納税基金積立金	1,100万円
障害福祉サービス支援事業 (介護給付費・訓練等給付費)	1億2,000万円
町道舗装指定修繕事業	692万8千円
都市公園等維持管理事業	100万円
教育環境整備事業(一斉連絡システム使用料)	37万4千円
学校給食供給事業(給食材料購入費)	152万8千円

主な質疑

問 企業版ふるさと納税寄附金1,150万円は、どのように活用する見込みなのか。

答 1,000万円は、一般財源100万円を上乗せして基金に積み立てし、企業の意向である生活利便性を高めるまちづくり事業、特に公共交通利用者のための事業に令和7年度活用する。50万円は、6号線の県道の越谷野田線から葛飾吉川松伏線の上赤岩の交差点までの間でセンターラインや外側線、減速マークや区画線を引く費用に活用する。100万円は、魚沼の魚沼東集会所に面する町道にガードレールを設置する。

問 公園管理委託料100万円の内容は。

答 町内の都市公園は約8割が設置から25年以上経過している。職員による日常的な点検と再点検を行った結果、総合公園・田中第2公園・もみじ公園・くすのき公園・上河原第5公園で枯損木こそんぼくを伐採、もみじ公園・くすのき公園の樹木を剪定する。

問 教育費の一斉連絡システム使用料37万4,000円は、どのようなシステムの使用料なのか。

答 保護者のスマートフォン等に一斉に学校等からお知らせや連絡などを送ったり、児童・生徒が欠席や遅刻をする場合、保護者から学校へスマートフォン等を使って送信できるシステム。学校や町のPTA連合会から強い要望があり、これまで町内5校ともPTA会費で賄っていたメール配信システムを公費化するもの。

問 給食食材購入費152万8,000円の積算根拠は。

答 埼玉県学校給食会より購入している米飯の物価高騰分に対応する費用。売渡価格が11月に変更され、これまでの売渡価格より約1.2倍上がった。この分を給食費で賄うと給食の質を維持することが難しいため。

主な議案

松伏町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○改定内容

		現行	改定後
基礎課税額	被保険者均等割額	31,200円	37,400円
	所得割額	7.80%	7.80%
	課税限度額	65万円	65万円
後期高齢者 支援金等 課税額	被保険者均等割額	6,600円	10,400円
	所得割額	2.00%	2.00%
	課税限度額	22万円	24万円
介護納付金 課税額	被保険者均等割額	12,300円	12,300円
	所得割額	1.60%	1.60%
	課税限度額	17万円	17万円
合計	被保険者均等割額	50,100円	60,100円
	所得割額	11.40%	11.40%
	課税限度額	104万円	106万円

※令和6年度市町村標準保険税率（基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額の合計）

被保険者均等割額 74,976円
所得割額 12.25%

○実施時期

令和7年4月1日

問 埼玉県国民健康保険運営方針に基づき令和9年度の保険税水準の統一に向けたものと理解しているが、税制改正により各世帯及び1人当たりの影響額はどの程度になるのか。

答 被保険者1人当たり1万円の増となる。4人世帯であれば世帯当たり4万円の増というのが基本的な改定。均等割は、被保険者の人数に応じて課されるものが、低所得者の方に対しては、7割、5割、2割の軽減措置があるほか、未就学児は5割軽減があるので、各世帯の状況によっては影響額は1人当たり1万円より低額となる。今回の税率改定による世帯当たり及び1人当たりの影響額の試算結果は、令和6年度当初賦課時点での1人当たりの保険税額が約9万7,500円、1世帯当たり約14万9,500円で、税率改定を反映した試算をすると、1人当たりの保険税額が約10万2,200円で4,700円の増、1世帯当たり約15万6,300円で6,800円の増となっている。

意見書

(一部省略)

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。



自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書

可決

- 一、高齢者の免許返納の促進に伴う自動運転移動サービスの導入において、交通空白地域を包含する地方公共団体に寄り添う形で、国の相談窓口の開設や、専門家の派遣等の伴走型の支援体制を整えること。
- 一、移動運転技術の開発があらゆるメーカーで進められている中で、自動運転システムが主体となって車の操縦・制御等を行うレベル4以上の車両の開発促進とともに、遠隔操作システムの導入を含めた行政における利活用の仕組みの検討など、自動運転車両の実用化に向けた環境整備を行うこと。

ジェンダー平等施策を推進することを求める意見書

可決

透明性のある政治資金制度を求める意見書

否決

12月定例会の議案の採決

議員名

採決結果

件名

		平野	吉田	鈴木	砂川	村上	川上	松岡	増田	高橋	長谷川	増田	高野	福井	佐藤	採決結果
		千穂(共)	俊一(共)	勉(社)	清時(自)	真由美(公)	力(公)	高志(チ)	等(自)	昭男(自)	真也(未)	秀雄(未)	祐大(チ)	和義(チ)	永子(自)	
【町長提出】																
議案第51号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度一般会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第52号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	松伏町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	松伏町建築基準法に関する手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	令和6年度松伏町一般会計補正予算（第4号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	令和6年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	令和6年度松伏町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第58号	令和6年度松伏町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	松伏町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第60号	町長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	令和6年度松伏町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	令和6年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	令和6年度松伏町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	令和6年度松伏町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	令和6年度松伏町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【議員提出】																
発議第11号	松伏町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第12号	松伏町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第13号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	○	○	●	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第14号	ジェンダー平等施策を推進することを求める意見書	◎	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第15号	透明性のある政治資金制度を求める意見書	○	◎	○	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	●	否決

(○=賛成 ●=反対 退=退席 ◎=提出者)

(会派名) 自=自民クラブ、チ=チェンジ松伏・無所属クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、社=社会正義クラブ

町政に関する

一般質問の主題

村上 真由美

- 町内小・中学校の不登校の児童・生徒への健康診断
- 手話言語条例の制定
- 女性防災担当職員の配置と女性・子ども・高齢者の備蓄用品
- AED設置場所の増設と三角巾の配備

川上 カ

- 子どもの安全・安心なSNS・インターネット利用と「コドモモ」アプリの活用について
- 公共下水道接続促進対策の推進を
- 高齢者タクシー利用券・高齢者バス利用券拡充について
- 音楽健康クラブの送迎バス導入について

長谷川 真也

- 東埼玉道路開通に向けて
- 令和7年度予算編成方針と「各世代が笑顔あふれるまちづくり」の実現について

増田 秀雄

- オーガニック給食の導入について
- 環境出前講座の取り組みについて
- イネカメムシの防虫対策について
- 町民まつりの成果と課題について

砂川 清時

- まつぶし町民まつりの今後について
- 第50回衆議院議員選挙の投票率について

福井 和義

- 消滅可能性自治体の汚名を返上

高野 祐大

- 持続可能で利便性の高い快適空間のまちづくり
- 地下鉄8号線（押上―野田市間）の事業化に向けて

松岡 高志

- 全国及び埼玉県学力・学習状況調査結果を活かし課題の改善を
- 町の災害対応力の強化を

増田 等

- 町内米作被害の状況と救援策は
- 「年収の壁」変更時の町財政への影響は
- 松伏町の民具継承の現状は
- 「カレーのまちづくり」による町への経済及び健康づくりへの効果は

鈴木 勉

- 道の駅計画は、即時中止し断念せよ
- 町と自治会、住民が一体となった防犯対策の強化について
- 町における各種選挙の低投票率の現状と対策について

平野 千穂

- 投票率向上の取り組みについて
- 小学校のICT教育の効果と弊害について
- 地域公共交通計画の策定状況と今後の取り組みスケジュールについて

吉田 俊一

- 国民健康保険税の負担軽減を
- 夏の猛暑やカメムシ被害による水稻への影響と農業者支援策について
- 豊橋上流部の中川堤防上の道路の修繕について

12人の議員が町政を問う

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます



むらかみ まゆみ
村上 真由美
(公明党)

Q AEDケースに三角巾配備を

A 大きさや色を選定し検討を進める

問 AEDを使用する際、女性の場合は特にプライバシー保護が必要だ。三角巾は胸を覆うことができるほか、止血など応急手当でも使用できる。三角巾を町内設置のAEDに配備出来ないのか。

答 すこやか子育て課長 今後、適切な大きさや色の選定なども含め、検討を進めていく。

問 町内のほとんどのコンビニが24時間営業で、誰もがわかる場所にある。町内のコンビニに、リース方式を含めたAEDの設置が出来ないのか。

答 すこやか子育て課長 設置は導入費用、管理方法、リースの場合の費用も含めたランニングコスト、使用時の店員の負担、店舗側の意向など、多くの課題がある。近隣市の先進事例を参考に調査研究をする。

問 健康診断を受診できなかった不登校児童・生徒・保護者が希望すれば保健センターや学校医・学校歯科医の医院で受診できないか。

答 教育総務課長 可能な限りすべての児童・生徒が

検診を行えるよう、個別の対応を行っている。

問 手話言語条例を制定して、町の行政説明会などに手話通訳を配置するべきだ。

答 いきいき福祉課長 社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会との間で、意思疎通支援事業委託契約を締結している。手話言語条例の性格も有する情報コミュニケーション条例の制定を目指したい。



桶川市AEDコンビニ設置チラシ 桶川市ホームページより



かわかみ つとむ
川上 力
(公明党)

Q 音楽健康クラブに送迎バス導入を

A 開催場所を増やすなど方法考える

問 子どもをSNSによる被害から守るため、性的な自撮りを自動判別し、画像を削除するよう促す通知が表示され、保護者にも通知される無料の「コドママ」アプリの周知・啓発を行ってはどうか。

答 教育総務課長 「コドママ」アプリについては、校長会や教頭会において情報提供を行っていく。

問 総務省のホームページでは、大分県宇佐市の「下水道加入促進キャンペーン」が紹介されている。町でも下水道接続の対策として導入できないのか。

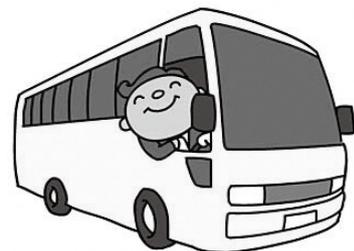
答 まちづくり整備課長 同キャンペーンは、下水道使用料金を1年間減免(無料)とするもので、接続を検討している方の費用負担を軽減する意味で有効と考えるが、課題もあり調査・研究していく。

問 高齢者タクシー利用券の枚数増加や、一回に複数枚利用できるようにできないのか。

答 いきいき福祉課長 利用枚数の増加は財政事情から非常に厳しい。額面2,000円のタクシー券も選択できるように、利便性の向上を図っている。

問 音楽健康クラブに参加をしたい、参加を続けたいと思う方から、会場までの送迎バス導入の要望がある。人気の事業であり検討すべきではないのか。

答 町長 各課からの要望額と町の予算規模とは18億円の乖離があり送迎バス導入は難しい。音楽健康クラブは大変人気のある事業と認識している。開催場所を増やすなども一つの方法と考えている。



音楽健康クラブに送迎バスを



は せ が わ し ん や
長谷川 真也
(未来クラブ)

Q 東埼玉道路開通後の渋滞予想

A 現段階渋滞が生じる可能性は低い

問 田島インターから国道4号に行くルートとして考えられる道路の安全面を問う。

答 まちづくり整備課長 開通に向けて、道路の状態を確認しながら安全性の確保を図るとともに、開通後も道路管理者となる埼玉県や近隣市と連携しながら安全安心な道路環境の確保に努めていく。

問 来年度の道路予算の考えを町長に問う。

答 町長 緊急性や危険性などを考慮に入れ、優先順位をつけながら予算編成をしていく。

問 2期目における今現在の各世代が笑顔あふれるまちづくりの総括について、町長に問う。

答 町長 学校給食の一部無償化、こども医療費を高校生まで拡大、タクシーやバスの利用料金の拡充、北部サービスセンターに地域包括支援センターを開設、安全防災対策本部機能を備えた防災備蓄センターを整備、移動式ポンプの配置や排水路の整備、カレーのまちづくりを推進、ふるさと納税返礼品の拡充に努めた。また、松伏田島産業団地の

整備を進め、町民の雇用機会の確保、職住近接のまちづくりを進めてきた。今後、基本理念である各世代が笑顔あふれるまちづくりの実現に向け、引き続き邁進していきたい。

問 町長の任期は来年の6月、それ以後も引き続き町のトップとして施策を進めていく考えか問う。

答 町長 3期目も目指して頑張りたい。



2025年5月18日町長選挙



ま す だ ひ で お
増田 秀雄
(未来クラブ)

Q オーガニック給食の導入を

A 食材の安定供給、費用の面で困難

問 オーガニック給食の導入を。

答 教育総務課長 オーガニック給食を取り入れる事は、現在納入されている食材より高価となり、昨今食材費が上がっていることも踏まえると、現在の給食費では給食を提供できなくなる恐れがある。また、児童・生徒数等で考えると、調理規格、大きさ等で必要量を納品することは現状難しい。

問 イネカメムシの防虫対策について。

答 環境経済課長 町では、埼玉県春日部農林振興センターとともに、現地調査を実施し、その結果、現段階で、高温障害やイネカメムシによる被害によって、収穫量の減少や品質の低下等が発生していることを確認している。町では、農林水産省関東農政局への訪問や埼玉県農林部等と意見交換会を実施し、町の被害状況を説明するとともに、次期作へ向けた支援を要請した。

問 ドローン事業者と共に防虫対策を行う考えは。

答 環境経済課長 今後、町が農業者やドローン事業

者とのような連携を図れるか検討していく。

問 学校で環境出前講座を実施する考えについて。

答 教育長 体験活動や実際に自分の目で見る機会をしっかりと増やしていく。それがまた、家に帰ってまた保護者と話の話題になっていくなどにもつながるのではないかなと考えている。現場にしっかりと指導支援していきたい。



農業収穫祭で行なわれたドローンによる農薬散布のデモンストラーション



すながわ きよとき
砂川 清時
(自民クラブ)

Q 衆議院議員選挙の投票率を問う

A 県内73投票区のうち73番目

問 10月27日に実施された第50回衆議院議員選挙の町の投票率を問う。

答 総務課長 埼玉県の投票率51.14%に対し、町は44.79%であり、県内73投票区のうち最下位の結果となった。分析結果から、10代~40代の投票率は31.75パーセントと低く、若年層及び子育て世代の対応策を検討していく。

問 子どもの頃に親が行く投票と一緒にいったことがある人や学校で選挙や政治に関する授業を受けたことがある人は、無い人に比べ投票する割合が高いと分析されている。町内小中学校における選挙や政治に関する授業の実施現状を問う。

答 教育総務課長 小学6年生の社会科授業で、「国の政治のしくみと選挙」を学習、中学3年生の社会科の公民的分野で、「現代の民主政治」「国の政治の仕組み」について学習している。課外授業として、町の議場見学や国会見学も実施している。

問 町民まつりの今後の実施体制を問う。

答 環境経済課長 町民まつりは、継続して実施していきたい。過去には観光協会が行い、現在は町が行っているが、観光や町おこしは、住民や団体が主体的に運営し、そこに行政が支援をする形があるべき姿と考えている。複数の業種や団体から、町の観光や活気をつくり出そうという機運が高まったときに、組織設立に対する支援をしていく。

第50回衆議院議員選挙 投票率

近隣都県	投票率%	順位	近隣市町 (6市1町)	投票率%	県内順位 (投票区73)
全国	53.85	—			
東京都	56.06	13	三郷市	50.45	46
神奈川県	54.53	22	越谷市	50.03	48
茨城県	52.45	31	草加市	49.56	56
千葉県	52.14	33	春日部市	49.26	58
埼玉県	51.14	40	吉川市	48.01	66
栃木県	50.24	43	八潮市	46.38	71
			松伏町	44.79	73(最下位)



ふくい かずよし
福井 和義
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 消滅可能性自治体の汚名を返上

A 自然減、社会減への対策は必要

問 民間有識者で作る人口戦略会議は令和6年4月24日、松伏町を消滅可能性自治体と公表した。なぜならば、松伏町の人口は平成21年31,667人。令和6年10月1日現在の人口は、27,893人である。また、令和5年65歳以上の高齢者は、8,551人で、高齢者率は30.3%、超高齢者化の町になっている。

そして、令和24年の人口は、約23,000人と想定されている。この人口減少を抑制するため

1. 全ての保育園・認定こども園・幼稚園、小・中学校の給食費完全無償化
2. 町を活性化させる地域公共交通の推進
3. 介護予防、介護サービスの充実
4. 宅地開発を行い新築住宅の建設

などの取り組みで、消滅可能性自治体の汚名を返上できると考えている。

町は、人口戦略会議から消滅可能性自治体と公表された。このことについて、どのように認識して

いるのか。

答 企画財政課長 松伏町も消滅可能性自治体と位置づけられた。そして、この人口戦略会議の分析では、死亡数が出生数を上回る自然減の対策が必要であるだけでなく、転出が転入を上回る社会減への対策も必要であると認識している。



楽しい給食



たかの
高野 まさひろ
祐大
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 町の税金を使わない事業主体を

A 現在、新しい調査を進めている

問 地下鉄8号線整備に向けたこれまでの取り組みは。

答 企画財政課長 令和4年9月定例会で、地下鉄8号線誘致のための決議が可決され、令和5年12月議会で基金条例を設置し、同日付けで積み立てた。

問 地下鉄8号線の豊洲～住吉間は、令和6年11月に東京メトロによって工事が着手され、2030年代半ばの開業を目指している。

地下鉄8号線の押上～野田市間の事業主体はどこが担う予定か、現時点での町の見解を伺う。

答 企画財政課長 現在実施している調査の調査事項。地下鉄8号線の豊洲～住吉間は、江東区が1区で頑張った結果、事業主体としては、江東区ではなく東京メトロが担っている。東京メトロの株は国と東京都が半分ずつ持っていたが、このプロジェクト着手後に上場をした。

問 町の税金を使わない事業主体を考えるべきでは。

答 企画財政課長 現在、新しい調査を進めている。

問 地下鉄8号線の押上～野田市間の事業採算性について、町はどのように評価しているのか。

答 企画財政課長 事業採算性についても調査内容。

問 調査結果が出るのが春以降だ。過去、何個かのケースに分けて調査をされており、結果的に赤字で運営ができる調査結果が出ている。町民の願いとしては駅が欲しいというのがある。町のお考えは。

答 企画財政課長 周辺整備も含め、進めていきたい。



高速鉄道東京8号線(八潮～野田市間)事業化検討調査報告書(平成26年10月)より引用、一部追記



まつおか たかし
松岡 高志
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 子どもたちの学力課題の改善は

A 基礎基本的知識技能を習得させる

問 令和6年度の全国及び埼玉県学力・学習状況調査結果から、町の子どもたちの学力課題の改善について、教育長はどう考えているか。

答 教育長 中学校の国語数学英語に関しては近隣の市町と比べても全く遜色がなく、上回っているぐらいである。それに対して、今年度の小学校、松伏町内小学校6年生の学力テストの結果は非常に問題があると思っている。小学校の点数がこれだけ近隣より低いというのはちょっと見たことがなく、大きな課題だと思っている。その理由の1つが新しい学習指導要領が求める高度な学び、主体的で対話的で深い学びという非常に高度な学びの消化不良ではないかと思っている。中学校3年生はそれなりの成績を残しているの、このぐらいの成績を残せる松伏町にしていくためには何が必要か、考えていかななくてはと思っている。

問 松伏町地域防災計画では、防災訓練を通じて防災対策の周知を図り、常に防災力の向上を図るもの

としているが、その現状を問う。

答 総務課長 防災訓練は名称を防災フェスティバルに変更し開催した。令和5年度の訓練から約40%増の550名の参加をいただき、防災や減災に対する意識の醸成が図られたと認識している。このような訓練などを継続的に行うことで、町全体の防災力、減災力の向上を図っている。

調査科目	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
埼玉県平均	69	64	59	53
さいたま市	71	67	61	58
春日部市	69	63	56	49
草加市	68	62	59	53
越谷市	73	67	62	56
八潮市	70	64	55	52
三郷市	72	66	58	51
吉川市	70	64	58	55
宮代町	71	67	60	54
杉戸町	69	62	58	48
松伏町	60	56	59	51

令和6年度全国学力・学習状況調査 平均正答率
[埼玉県教育委員会ホームページより作成]



ますだ ひとし
増田 等
(自民クラブ)

Q 町内米作被害の状況と救援策は

A 国・県の関係部局へ支援を要請

問 町内米作被害の状況と救援策は。

答 環境経済課長 農林水産省関東農政局、埼玉県農林部等に町の被害状況を説明し、次期作へ向けた支援を要請。現在埼玉県の被害状況調査を進めており、県内自治体の状況を確認し支援策を検討。

問 「年収の壁」変更時の町財政への影響と対応は。

答 企画財政課長 町の地方交付税当初算定額は約20億円で、影響は大きいと認識している。今後の国の動向に注視し、国の補正予算に伴う地方交付税、臨時交付金の増額分を活用し、令和7年度から前倒し予算化して次年度へ繰り越し、事業を実施していくことも検討している。

答 税務課長 現段階では不確定要素が多いが、「103万円の壁」や「特定扶養控除」の年収要件が引き上げられれば、町税減収が予想される。

問 カレーのまちづくりによる町経済への効果は。

答 環境経済課長 令和元年にスタートしたスタンプラリーでは売り上げ実績が年々上昇。今年度は、

近隣の6市3町の高校生8チームが参加する「高校生カレー選手権」を1月に中央公民館で開催。

問 松伏町の民具継承の現状は。

答 教育文化振興課長 町所有の民具は生活用具類、先人達の農業等の生業の歴史や衣食住など12種類の用途毎に分類、479点が民具目録で管理されている。令和4年損傷により248点を処分した。



松伏町コメ被害の現状



すずき つとむ
鈴木 勉
(社会正義クラブ)

Q 採算性ない「道の駅計画」中止を

A 道の駅で松伏町の名前が売れる

問 町の道の駅計画は、巨額の事業費が見込まれ更に、数年以内に外環自動車道に約8ha規模の八潮パーキングエリアが設置される。加えてその隣接地に八潮市が道の駅を整備する計画がある。町の道の駅計画は、巨額の事業費が見込まれ、事業採算性の見込みない。町は、即時中止し断念すべきだ。

答 新市街地整備課課長 東埼玉道路の交通量の把握が必要であり、事業採算性を踏まえて判断していく考えである。

問 事業採算性を踏まえるというが、今時点でも採算性もなく、事業費にも耐えられないことは、わかりきっている。概算事業費はどの程度見込んでいるのか。

答 新市街地整備課課長 1年前に当初計画20億円の概算費用が建築費の高騰により1.5倍程度に膨らむと答弁させていただいた。

問 すると30億円前後と理解して良いか。

答 新市街地整備課長 他の建築費用調査によれば、計画段階より2倍近くに跳ね上がった例もある。今、道の駅の可否を判断するタイミングではないと考えている。

問 事業採算性の見込みがあるのか。

答 町長 公共施設というものは、採算性で考えるものではない。一番松伏町の名前が売れるのは、「道の駅」だと私は認識している。



大型トラックが常に満車状態の道の駅駐車場の実態
(写真は道の駅「しょうわ」)



ひらの ちほ
平野 千穂
(日本共産党)

Q 交通不便地域などの要望の把握は

A 実施した調査できていると認識

問 地域公共交通計画策定の調査内容、調査結果の分析と課題、計画策定までのスケジュールは。

答 企画財政課長 満16歳以上の町民3,000人を対象とした基礎調査、乗降の多いバス停での聞き取り、PTA役員・松伏高校・けんこうクラブ女性部会との意見交換会、公共交通事業者4社からのヒアリングを実施し、課題は、外出状況に応じた利便性の確保・充実、交通事業者の運営が厳しいなか将来にわたる外出手段の確保・維持と整理した。

1月下旬から2月下旬にパブコメを実施し、3月下旬に計画の最終案を取りまとめる予定。

問 住民が求めているのは交通不便地域の解消・改善、交通弱者(高齢者・障がい者等)対策。①要望の把握。②今回の調査だけでは不十分。追加調査や地区別分析を行う考え。③計画策定後の取組。

答 企画財政課長 ①実施した調査や意見から把握できていると認識している。②計画は取組の方向性等を示すもの。調査で年齢別や地区別など意見を

聞いているため、現段階で追加調査を行う予定はないが、来年度以降、協議会の中で深く調査すべきという意見が出たら、再度、調査・研究を検討する。③計画期間5年間での取組や、5年で実現しないものを調査・研究する内容も入る。今後、町をまたぐ計画になるようであれば、近隣市を協議会の委員に入れる必要があるかと思う。

赤岩入口バス停 北越谷駅行		大川戸バス停 北越谷駅行 せんげん台駅行			
5	35.45.51	5		5	
6	00.06.09.20.22.30.37.38.47.49.55.59	6	33	6	
7	03.06.11.16.19.27.36.37.41.45.48.55	7	43	7	
8	04.05.14.16.24.29.39.41.51.57	8	19.56	8	57
9	01.03.11.15.27.36.39.46.51	9		9	56
10	01.03.11.15.20.27.35.39.46.51	10		10	
11	01.03.08.15.21.27.35.39.45.51	11		11	46
12	01.03.11.15.20.27.36.39.45.51	12		12	
13	01.03.04.15.21.27.36.39.46.51	13		13	01
14	01.03.11.15.21.27.36.39.45.51	14		14	13.51
15	01.03.10.15.20.27.29.39.46.51	15		15	
16	01.03.11.15.21.26.27.39.41.51.59	16	36	16	
17	03.08.15.18.27.35.39.41.51.56	17	51	17	03
18	03.09.15.19.27.34.36.39.51.59	18		18	17
19	03.12.16.22.29.37.41.52	19		19	
20	00.07.17.22.37.47.53	20	48	20	
21	02.17.22.32.37.57	21		21	
22	17.30.37.57	22		22	



よしだ しゅんいち
吉田 俊一
(日本共産党)

Q 国民健康保険税の負担軽減を

A 令和9年までに段階的に値上する

問 国民健康保険は県と市町村の共同運営。納付金を県に支払い、医療給付費の支払いは全額が県から交付される仕組みになっている。令和7年度納付金と標準税率の、「秋の試算」の影響は。

答 住民ほけん課長 毎年11月に県が試算し提示する。今回の試算数値は、(国庫事業費)納付金が約7億8,300万円、標準保険税率は所得割額12.5%、均等割7万8,633円。納付金は令和6年度と比べて約2,800万円の減だが、被保険者数の減少で1人当り納付金は増加している。標準保険税率の試算値と現行税率の差は所得割で1.1%、均等割で2万8,533円の開きがある。令和9年度の国保税率の準統一(第3期方針)に向けて、段階的に税率を引上げる必要がある。

問 加入者数の減少、収入が少ない人・年金生活の人が増えている。もともと小規模零細事業者など収入の少ない人が多い国保は、構造的な財政問題を抱え、国の財政支援が必要だ。国から十分な財政

支援がないまま、税率の県内統一で税率がさらに重くなる。負担軽減をどう考えるのか。

答 町長 埼玉県町村会は、県への重点要望で医療保険制度の安定運営(未就学児の均等割・軽減で年齢拡大、所得の少ない世帯や生活への配慮など)を要望している。全国町村会では国に医療保険制度の一本化、確実な公的投入を要望をしている。

令和7年度納付金と標準税率の県試算、令和9年度税率の推計値について

令和7年度 納付金 (秋の試算)	7億8300万円	* 県全体の納付金総額の試算をもとに、所得と被保険者数で計算される。1月の本算定で確定する。			
令和6年度 納付金	8億1119万円	標準税率は、負担軽減のために町一般会計からの法定外繰入金や国保基金からの財源措置をしないことを前提に、計算されている。			

国保税率	医療費分		後期高齢者医療支援分		介護保険支援分	
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割
現行 国保税率	7.80%	31200円	2.00%	6600円	1.60%	12300円
令和7年度標準税率 (秋の試算)	7.45%	45463円	2.69%	16188円	2.36%	16982円
令和9年度 税率準統一(推計値)	8.75%	49770円	3.21%	17783円	2.98%	19612円



委員会報告 見る・聞く・動く

総務産業常任委員会 所管事務調査

東埼玉道路・田島産業団地進捗について（令和6年10月29日）

東埼玉道路

東埼玉道路は、埼玉県東部地域の交通混雑の緩和や高速道路へのアクセス向上、沿線開発事業の支援、災害時にも機能する高規格道路ネットワークの構築を目的に、自動車専用部と一般部が併設する延長17.6kmの幹線道路事業である。そのうち、一般部については、吉川市川藤から春日部市水角までの延長8.7kmを事業中で、吉川市川藤から松伏町田島までの延長3.8kmは、令和7年春頃開通予定となっている。東埼玉道路の整備により、①国道4号の渋滞緩和、②周辺地域の開発支援、③物流の効率化による生産性の向上、④アクセス性の向上、⑤災害時に機能する道路の効果が期待される。

田島産業団地

現在整備している東埼玉道路にも近く、交通アクセスが良いエリアとなる。

産業団地の整備により、産業集積による地域経済の活性化が大いに期待される。

1号区画 (株)丸和運輸機関 倉庫 - A棟	
2-1号区画 西尾レント オール(株)	2-2号区画 (株)三協運輸 サービス



建設中の(株)丸和運輸機関倉庫

文教民生常任委員会 所管事務調査

学校給食センターと松伏小・松伏第二中学校の調査

11月12日松伏町学校給食センターに地元産の野菜の使用状況や施設見学と試食を行った。今年は気候の影響で納品が難しいが、食育の日の19日は地元産を優先している。現在は空調機の工事のため委託米を利用している。施設見学後試食をした。和食の日は残菜が多いとのこと。施設全体が老朽化し、配管も劣化しているとの説明である。松伏小学校には通常学級が21学級、特別支援学級が5学級、難聴言語の教室と今年から情緒通級指導教室ができた。不登校や教室に入れない子が増えてスペシャルサポートルームができ、自分に合ったスペースで学習・生活できる環境を学校内に設置している。成果は全欠児童が減り笑顔が増え前向きになったとのこと。松伏第二中学校のサポートルームは生徒の部屋・個別ブース・相談室とさわやか相談室は長期欠席等の生徒の対応についてピンチをチャンスと捉え学校に来やすい雰囲気作りに取り組んでいる。



松伏小学校の説明を聞く

議会だより 写真募集!



カメラの種類（一眼レフ、コンパクトカメラ、スマートフォン等）は問いません！
お気軽にご応募ください！

募集内容

松伏町内で撮影された写真（行事、風景、人物など）
※撮影内容により、被写体または所有者の承諾が必要

応募資格

松伏町内に在住・在勤または在学の方

応募要件

- JPEG形式・カラー・高画質デジタルデータ（1MB～9MB程度）で、解像度350dpi以上のもの
- 町内において概ね3年以内に撮影したもの
- 応募者本人が著作権を有し、未発表・未加工のもの

応募方法

議会事務局に持参、郵送またはメール(gikai@town.matsubushi.lg.jp)

※応募に係る詳細は、町ホームページでご確認ください。

傍聴・感想ありがとうございました

傍聴者の声

(抜粋です)

- AEDは極力利用可能な至近距離に設置される事は望ましい。日中だけでなく夜間も利用できる時間帯拡充検討も必要不可欠である。
- 高齢者タクシーやバス券の利便性向上と更なる拡充検討を願う。
- 議員の一生懸命な姿勢が感じられる紙面がいつも届き楽しみにしている。
- 東埼玉自動車道路の開通は経済的相乗効果が期待される。町の発展につながることを期待したい。

令和7年3月定例会の日程(予定)

令和7年2月27日(木)～3月21日(金)
詳細は議会運営委員会で決定後、お知らせします。

12月定例会・傍聴者数

12月5日	2名
12月9日	16名
12月10日	4名
12月11日	9名
12月13日	2名

合計 33名

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
松伏町議会だよりの初刊第1号は、平成5年3月議会からです。
今回の第128号で32年の歴史を歩んできました。

私は平成12年6月議会の第29号議会だよりから広報委員として初参加し、現在も務めています。広報委員として町民の皆様
に理解される内容と、読みやすい紙面作り
に今も苦労しています。 **高橋 昭男**



議長	田口 義博
議会広報発行特別委員会	
委員長	高野 祐大
副委員長	平野 千穂
委員	佐藤 永子
委員	高橋 昭男
委員	増田 等
委員	増田 秀雄
委員	村上 真由美